

美しい多摩川フォーラム・第3回運営委員会議事録

日 時 : 平成27年3月24日(木)15:00~16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)2階ソアーベ

出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授
副会長 森田 昇 青梅信用金庫 理事長
委 員 村井 良輔 東京都西多摩建設事務所 所長
若菜 伸一 奥多摩町 企画財政課 課長
福泉 謙司 青梅市 建設部 計画調整担当主幹
粕谷 昇司 羽村市 産業環境部産業課 課長
石橋 克巳 大田区 都市基盤整備部 臨海部基盤担当係長
佐藤 浩二 立川商工会議所 会頭
芝元 憲太郎 東日本旅客鉄道(株)八王子支社 営業部販売促進課 副課長
小澤 順一郎 小澤酒造(株) 取締役社長
吉丸 博志 森林総合研究所 多摩森林科学園 園長
小野木 喜博 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長
渡邊 勇 青梅子どもの水辺協議会 会長
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館 館長
武田 和久 日本たばこ産業(株)立川支店 業務部長
栗原 秀二 (一社)大多摩観光連盟専務理事
加藤 太 (株)JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店
営業第二課長
馬場 真人 近畿日本ツーリスト(株)首都圏西団体旅行支店 課長
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長
小林 誠 東京急行電鉄(株)都市開発事業本部ビル事業部
二子玉川ライズ推進部 企画担当 専任主幹
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー
アドバイザー 藪田 雅弘 中央大学教授 経済学研究科委員長
栗原 洋三 大田観光協会事務局長
澤田 實 東京シティガイド
オブザーバー 永尾 昌文 公益財団法人東京市町村自治調査会 総務部長兼調査部長
高山 千弘 エーザイ株式会社 知創部 理事 部長
廣瀬 文乃 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 特任講師
蛭間 浩之 東京都西多摩建設事務所 管理課 課長
(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)

(第2号議案)平成26年度事業決算見通し(案)

(第3号議案)平成27年度事業計画・同予算(案)

(第4号議案)平成27年度総会の開催日程等について(案)

(資料 1)第7回・多摩川子ども環境シンポジウム開催

(資料 2)青梅市下長淵地区にて桜の植樹式開催

(資料 3)「多摩の物語」の語り会

(資料 4)第7回・美しい多摩川フォトコンテスト作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ画展

(資料 5)第6回“美しき桜心の物語”の語り会(府中市・大國魂神社)

(資料 6)公益財団法人とうきゅう環境財団・2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩川一斉水質調査」関係)進捗報告について

(資料 7)第4回・桜守学校開催

(資料 8)多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

(資料 9)東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成26年度第3回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて47名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。始めに「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は合唱バージョンでお聞き下さい……。次に、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(東京都 西多摩建設事務所 所長 村井 良輔 様)

村井と申します。よろしくお願ひいたします。

(羽村市 産業環境部産業課 課長 粕谷 昇司 様)

粕谷と申します。よろしくお願ひいたします。

((株)JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店 営業第二課長 加藤 太 様)

加藤と申します。よろしくお願ひいたします。

(事務局)

有り難うございました。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願ひします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

美しい多摩川フォーラム平成26年度の第3回運営委員会でございます。平成19年にこのフォーラムが始まり、……(マイク不具合により音声拾えず。)……それでは、セレモニ

一の準備をお願いします。

3. セレモニー

(1) 第7回美しい多摩川フォトコンテスト表彰式

(事務局)

会議に入る前に、「第7回美しい多摩川フォトコンテスト表彰式」を執り行います。

＜細野会長より表彰状授与＞

■多摩川の風景・人々部門

最優秀賞	松島 国五郎	夕日に映える
優 秀 賞	樋川 藤之	溪流の騒めき
入 賞	清水 国夫	溪流の彩り
	鈴木 京子	御岳小橋の秋

■多摩川夢の桜街道部門

最優秀賞	森田 勝	大木に咲く桜花
優 秀 賞	星野 郁男	山間のしだれ桜
入 賞	和田 喜久雄	桜の奥をかいじが走る
	山根 桂子	過ぎゆく花を欲しむ

(2) 当フォーラム寄付金に対する新日本商事株式会社への感謝状贈呈について

(事務局)

続きまして、当フォーラムにご寄付をいただいた新日本商事株式会社様への感謝状贈呈のセレモニーを執り行いたいと存じます。

先月(2月)20日、青梅信用金庫の関連会社であります新日本商事株式会社様より、東北復興支援活動を推進している当フォーラムに対し、100万円のご寄付をいただきました。因みに、新日本商事様は以前にも東北復興支援のためにご寄付をいただいております。本日は、新日本商事株式会社・代表取締役社長の宮岡順一様に、ご出席をいただいております。宮岡社長様、一言よろしく申し上げます。

(新日本商事株式会社 代表取締役社長 宮岡 順一 様)

本日は、運営委員会にお招きをいただき、有り難うございます。新日本商事株式会社は、多摩川フォーラムの設立当初より、法人会員として応援をしておりました。このたび、多摩川フォーラムを通じて東北復興応援に役立てていただけたとのことで、寄付をした次第です。復興支援が幅広く定着することを祈っております。今後ともよろしく願いいたします。

<細野会長より感謝状贈呈>

4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。前回1月の運営委員会以降に実施された活動につきまして、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。それでは、その中から(1)番の活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 第7回・多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/6)【資料1】※

- ・【資料1】をご覧ください。昨年、12月6日に、昭島市のフォレスト・イン昭和館において開催された「多摩川子ども環境シンポジウム」の発表内容を取り纏めたものです。今月11日に発表者や多摩川流域の小中学校、教育関係者ほか関係団体の皆さんに配布したところですが、本件につきましては、山崎教育文化副部会長に一言お願いします。

(山崎教育文化副部会長)

この事業も毎年恒例となり、子どもたちが夏休みの宿題をさらに追及して、子ども環境シンポジウムに臨むというパターンが多くなってきています。最初から多摩川に食いついてきている子どもたちがどんどん増えています。手前みそですが、奥多摩町氷川小学校の子どもたちが「おさかなポスト」へバスに乗って遠足に来てくれて、多摩川河口の干潟まで出かけました。上流は奥多摩町、下流は大田区や川崎市の子どもたちが子ども環境シンポジウムでの発表を楽しみにしています。今年は何校の子どもたちが参加してくれるか楽しみです。余り増えすぎても時間の制約があるので難しいですが。皆さんも、知り合いの学校や独自で調べ物をしている子どもを見かけたら、子ども環境シンポジウムのことを宣伝してください。ご協力をお願いいたします。

(2) 青梅市下長淵地区にて桜の植樹式開催(2/8)【資料2】

- ・【資料2】をご覧ください。去る2月8日に植樹式を開催しました。本件につきまして、青梅市建設部計画調整担当主幹の福泉様、緑の大地会理事長の浅見様より一言お願いします。

(青梅市 建設部 計画調整担当主幹 福泉 謙司 様)

今回の植樹式では、青梅市長淵の多摩川右岸側にある長淵水泳場の駐車場に、桜

を10本植えました。当日は多摩川フォーラムの森田副会長にもご出席いただき、植樹は無事終了しました。最近では花芽も膨らんできている状況です。この植樹式には、地元の児童も大勢参加しました。子どもたちの成長に合わせて、桜の生育も見守っていきたいと思います。また、大地の会さんには、植樹指導にご協力いただき、有り難うございました。

(緑の大地会 理事長 浅見 芳雄 様)

今回の植樹の応援をさせていただきました。昨日、桜の開花宣言がありましたので、植樹した桜の様子を見て来ましたが、薄桃色の花芽が見えていました。来週あたりには咲くのではないかと楽しみにしています。地元の小学生、中学生が30～40人くらい来てくれたので、その子たちが5年、10年後も桜を見守ってくれたら嬉しいと思います。

(3)「多摩の物語」の語り会(3/4 羽村市生涯学習センターゆとろぎ・小ホール～語り部・

平野啓子副会長&お弟子さんによる語り)【資料3】

- ・【資料3】をご覧ください。この事業は、公益財団法人とうきゅう環境財団の2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金により実施しました。本件につきまして、平野副会長より一言お願いします。

(平野副会長)

羽村市生涯学習センターゆとろぎ・小ホールをお借りし、「多摩の物語」の語り会を開催いたしました。この語り会は、多摩川沿いの色々な物語を発掘しながら一つのストーリーにまとめていくもので、私ももちろんですが、私の語り仲間が各地で取材を行い、発表しました。この物語の作り方の特徴は、地元で地元のことを伝える方に敬意を払い、その方たちに教えてもらいながら民話を探り出し、掘り起こす側はあくまでも旅人の目線で、「その土地に足を踏み入れたら、こんな食べ物、お酒、文化、歴史に出会った」という驚きや発見を中心にまとめています。この物語を発表することによって、それぞれの土地に残る素晴らしさを発表するだけでなく、物語を聞いた人に「私も行ってみたい」と思わせる、いざないになれば良いと思っています。一昨年と去年は、多摩川上流部のお話を探り出して発表しました。その時は農林水産省の交付金をいただいていた。今回は、とうきゅう環境財団の助成金をいただき、多摩川中・下流部の話を調査、掘り起こし、語り部10人で発表しました。イベント当日は、羽村市長がご来賓でお越しになり、お客様としてのご挨拶だけではなく、多摩川フォーラムの運営委員として、フォーラムの活動がどれほど有意義なものであるかを分かりやすく伝えていただきました。ご参加いただいた観客の方からは、貴重なアンケートをいただいたほか、直接お電話もいただきました。各地に残る物語を、このまま近代の生活の中で過ごしてしまうと、いつか埋もれてしまう。しかし伝えられてきた話や食べ物は、その土地の風土や歴史に支えられ、育まれてきた

もの。伝えられた話や食べ物を味わうということは、今なお残っている風土を感じる事ができ、重要なものであり、これを伝えていかなければ、いつか忘れられてしまうので、こういった活動は大事である。と言っていたき、大変嬉しく思いました。また、多摩川上流部の話をまとめた冊子を、イベント受付に設置しておいたら、お持ち帰りいただいて読んで方がいらっしやり、その方は世田谷生まれであきる野に嫁いだ方なのですが、あきる野の知人の家に犬の絵が描かれたお札が貼ってあり、なんとなく見ていただけたのが、冊子を読んで、あれは「おいぬさま」という伝説であることが分かり、大変感銘を受けたそうです。今後もまとめた話を広く伝えていきたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。なお、「多摩の物語」につきましては、平成27年度についても助成金をいただくことになっており、来年度1年間をかけて、今回発表した内容を冊子にまとめる予定です。恐らく来年のこの運営委員会の場で、冊子として皆さんに紹介できると思っています。

(5) 第6回“美しき桜心の物語”の語り会(3/22 府中市・大國魂神社～語り部・

平野啓子副会長)【資料5】

- ・資料5】をご覧ください。3月22日に府中市の大國魂神社にて、府中市と大國魂神社のご後援のもと、平野副会長による「桜の語り会」が開催されました。当日は、立ち見客がでるほどの盛況となりました。本件につきまして、平野副会長より一言お願いします。

(平野副会長)

この日は晴れて良い天気でしたが、風はまだまだ冷たい中でありました。そんな中、体調がすぐれない細野会長がお忙しい中わざわざお越しになり、有り難うございました。また、地元の府中市長にもお越しいただき、ご挨拶をいただきました。当初の予定100名を超え、200名以上の来場があったということは、私の地元で開催ということもあるかもしれませんが、それよりも、事務局が早くから準備をし、本当に少ない人数で頑張っって呼び掛けていただいたことに他なりません。見えないところでいかにきめ細かく動いているかが特に如実に表れたイベントだったと思います。来場された方は、途中退席もなく、最後までお聞きいただきました。「語り会」を通じて多摩川を活性化させようという取り組みについても皆さんに伝わったと思っています。このスキームが東北・夢の桜街道にも活かされています。今日ご出席の方で、まだ語り会にお越しいたっていない方は、ぜひお越しください。

(6) 公益財団法人とうきゅう環境財団・2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に

- 関する調査・試験研究」(「多摩川一斉水質調査」関係)進捗報告について【資料6】
- ・ 【資料6】をご覧ください。「身近な水の調べ方」、「多摩川流域の水質調査マップ」が今月2日に完成しました。概要につきまして、渡邊部会長よりご説明をお願いします。

(渡邊部会長)

前回の運営委員会で、「身近な水の調べ方」をご紹介させていただきましたが、今回は印刷物が出来上がりましたので、皆さんにお配りしています。今までは、CODを測定していましたが、それに加えて電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンも測定しようということで、とうきゅう環境財団さんの助成金を得て、冊子化いたしました。対象は、市民や市民団体、小学校、中学校、高校で、そういった一般の方が測定できるようなテキストになっています。内容については、後で見ていただければと思います。また、「多摩川流域の水質調査マップ」ですが、2013年6月2日に実際に測定した電気伝導率、硝酸態窒素をもとに作成したものです。まずはマップの裏面の多摩川の水環境をご覧ください。上流には小作取水堰、羽村取水堰があり、多摩川の水が飲み水として取水され、中流から下流にかけては水再生センターや下水処理場がいくつかあります。これらの水再生センターや下水処理場で処理・浄化された水は、多摩川に放流され、下流については多摩川の水の5～6割が下水処理水ということになります。そういう環境を説明しています。また、生活環境の保全に関する環境基準も記載しました。表面をご覧ください。電気伝導率は色で分けし、硝酸態窒素は○、□、△の形状で分類しました。上流は白い○が多いですが、これは電気伝導率が低い(水の中のイオンが少ない)ことを表わしています。少し下流に進むと青い○が多くなります。47番・多摩大橋下付近になると、黄色い△が増えて来ます。ここからは下水処理水が含まれてきます。72番・古市場鉄塔脇から下流は、赤い□になり、電気伝導率も硝酸態窒素も高い値となります。これは恐らく海水が混ざっているからではないかと思います。こういった水質が、マップから良く分かるようになっていきます。

(事務局)

有り難うございました。ここで、公益財団法人とうきゅう環境財団 常務理事事務局長の小野木様より一言お願いします。

(公益財団法人とうきゅう環境財団 常務理事事務局長 小野木 様)

渡邊さんの調査研究と平野さんの調査研究は、ちょうど私どもの財団の特徴を表わしていて良いと思っているのですが、私どもは40数年前から多摩川をきれいにしようと活動を続けており、ここにきて、きれいにすることをベースにもっと文化的な色付けが出来ないかと色々模索している中、渡邊さんと平野さんの調査研究がピッタリ合致したということです。その両方が多摩川フォーラムから出てきたということは、さすがは幅の広い活

動をされている証だなど思っております。今後も二人三脚でやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(7)第4回・桜守学校開催(3/27)【資料7】

- ・【資料7】をご覧ください。昨年度に続き、今年度も桜守学校を都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の公益財団法人東京都公園協会様、小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラム・ホームページに実施内容を掲載し、募集案内を開始しました。平成26年度最後の事業になります。

～平成27年度の予定～

(1)多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業【資料8】

- ①4/2:羽村取水堰と玉川上水ほか、美しい多摩川フォーラム、羽村市、福生市、リビング多摩、大谷桜守
- ②4/7:高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園、美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守
- ・【資料8】をご覧ください。本日は、リビング多摩の石川編集長様にご出席をいただいております。①、②の両コースともに、ご共催いただくリビング多摩の石川編集長様に一言お願いします。

(リビング多摩 編集長 石川 様)

【資料8】にありますように、リビング多摩にてイベントの告知を行いました。毎年この時期に同じような形で、大谷桜守のガイドで多摩川夢の桜街道を歩くイベントを行っております。読者の方々には大変好評で、毎年楽しみに参加してくださっている方も多いです。今年は、例年通りの多摩森林科学園のコースと、新たな羽村取水堰～玉川上水の2コースで開催しました。多摩森林科学園は安定的に人気ですが、新設の羽村コースについては、朝10時に受付を開始したところ、わずか15分で定員になってしまいました。その後もキャンセル待ちの電話が絶えず、定員の倍の方が参加をご希望されていました。このまま開花が進めば、当日はちょうど見頃を迎えると思いますので、事故の無いよう、楽しいイベントにしていきたいと思っております。

(事務局)

有り難うございました。多摩森林科学園のコースについては、ウォーキングを始める前に、毎回吉丸園長に桜のミニ講座を開講していただいております。この件につきまして、吉丸園長から一言お願いいたします。

(森林総合研究所 多摩森林科学園 園長 吉丸 博志 様)

多摩森林科学園のコースは4月7日に開催する予定ですが、ご参加者には早咲きの桜をお楽しみいただけたと思います。ミニ講座では、桜の見方などをご紹介できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(2)東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)【資料9】

①5/1:第4回“美しき桜心の物語”の語り会(八十八番・弘前公園、弘前文化センター・ホール、語り部・平野啓子副会長)

- ・【資料9】をご覧ください。こちらは、東日本大震災復興支援プロジェクトの一環として開催され、今回で4回目を迎えます。この件につきまして、当日、語りを披露して下さる平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

先ほど、桜の語り会のお話をさせていただきましたが、そのやり方をそのまま東北の復興応援に応用いたしました。桜に人が集まるという、日本独自の桜への愛を、東北の復興応援に繋がれないかと運動をしております。今回で4回目となり、福島県三春町、宮城県塩竈市、岩手県盛岡市、そして今年は青森県弘前市で開催します。三春町で開催した時は、震災直後という事もあり、200名の参加者のうち、100名以上が県外からの方でした。その土地でお金を落とすことを目的に、観光型支援をしております。3回目あたりから、県外の方、特に東京の方の参加が徐々に少なくなっていることが残念です。被災地に行かれた方はご存じだと思いますが、被災地ではまだ仮設住宅に住んでいる方が大勢いらっしゃいます。何が変わったかと言えば、仮設での生活に慣れたということくらいです。復興を応援する意味でも、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思います。桜の物語がそんなに面白いのかと思われるかもしれませんが、これは、瀬戸内寂聴さんがお書きになった非常に色っぽい作品です。男女の叶わぬ恋を、桜の下で誓いを立てると言う、とても美しくロマンチックな内容です。その内容が、かえって被災地で当り障りの無さとなり、心の中に夢を見させてくれます。細野会長も、この語りを聞いた時に、心の中に思う色合いの変化があるとのことで、大人の恋を疑似体験できます。また、地元の話も伝える予定です。府中で語り会を開催した時も、府中にまつわる話をしましたし、昨年の盛岡では、宮沢賢治の話もしました。今度は青森なので、太宰治が良いのか、色々と考えている最中です。意外と地元の方は、地元の話に盛り上がってくれますので、頑張って伝えたいと思います。さらに、弘前城は、今年の春を逃すと、改修工事に入り、むこう10年この姿を見る事ができません。今年がチャンスですので、この機会にぜひいらしてください。

(細野会長)

有り難うございました。東北はまだまだ大変なので、ぜひ応援のつもりでいらしてください。それでは、本日の協議事項に入りたいと思います。第1号議案の「東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)」ですが、事務局の方から説明をお願いします。

5. 協議

(1) 第1号議案: 東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)

(事務局)

はい、第1号議案: 東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)をご覧ください。平成27年2月20日、青梅信用金庫関連会社の新日本商事株式会社様より、当フォーラムに対し、100万円が寄贈されました。これは、東北復興支援活動を推進している当フォーラムに寄付されたものですが、当フォーラムでは、東北・夢の桜街道推進協議会を通じて、東北復興支援事業を継続的に実施しており、寄付金100万円につきまして、同協議会に拠出したいということです。ご説明は以上です。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。ここで、東北・夢の桜街道推進協議会の宮坂事務局長より一言お願いします。

(東北・夢の桜街道推進協議会 事務局長 宮坂 不二生 様)

このたびは、青梅信用金庫の関連会社であります新日本商事様より、多摩川フォーラムを通じて多額のご寄付を賜り、厚く御礼を申し上げます。最近の東北・夢の桜街道運動につきまして、若干ご説明させていただきますと、運動規模が年々拡大しているほか、昨年の夏以降、体制面において、これまでの国交省に加え、経産省、農水省、財務省、日本銀行と、国や公的機関が協議会に続々参加され、拡充しています。特に、今年の事業については、10月に、東北6県による桜サミットを開催する予定です。昨年大ヒットした「多摩川酒蔵街道」の東北版である「東北酒蔵街道」を立ち上げ、現在77の酒蔵が参加を表明しており、10月の「東北・桜サミット」で正式発表する予定です。春は桜、秋冬は新酒ということで、東北復興について年間を通して応援する体制が整います。財政が厳しい中、このようにご寄付をいただき、大変有り難く思っております。重ねて厚く御礼を申し上げます。

(細野会長)

有り難うございました。次に、第2号議案の「平成26年度事業決算見通し(案)」につ

いて、事務局の方からご説明をお願いします。

(2) 第2号議案: 平成26年度事業決算見通し(案)

(事務局)

第2号議案の「平成26年度事業決算見通し(案)」をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入については、300,000円下振れする見通しとなりました。これは、フォーラム会員であるJT(日本たばこ産業株式会社)様が国内業務の大幅スリム化の一環として、今春の立川支店閉鎖に伴い、フォーラムを退会するため、大口の会費収入が見込めなくなったことによるものです。寄付金Ⅲの707,778円ですが、これは、東急百貨店が昨年6月に実施したココエコチャリティーイベントによる寄付金になります。寄付金Ⅳの198,425円ですが、これは、たまリバー50キロ命名記念・RUN&WALKを通じて寄せられた大田区民有志の皆さんからの寄付金になります。寄付金Ⅵの1,000,000円ですが、これは、先ほどご説明した新日本商事株式会社様からの寄付金になります。

一方、支出の部ですが、事務雑費は225,000円の上振れとなりました。主な要因ですが、多摩川フォーラム専用のインクジェットのプリンターが故障したことに伴い、昨年7月にキャノンの複合機をリースで導入、今年3月までの資料等印刷費254,181円を見込んだことによるものです。次に、多摩川酒蔵街道事業は、363,200円の上振れとなりましたが、これは、「多摩川酒蔵街道ワーキング・グループ」の連携先の皆様のご協力によりまして、当初考えていたものより格段に素晴らしいスキームが出来上がったことに伴い、PRチラシをより効果的な両面カラー印刷にしたほか、昨年11月の前回運営委員会において承認された「酒蔵街道」の商標登録申請費用として216,200円を急遽計上したことによるものです。上振れした分につきましては、表の下の方にあるパンフレット等制作費300,000円を組替充当しております。なお、予算計上している商標登録申請費用については、現在、特許庁に申請中であり、今のところ結果の連絡がないことから、年度内の登録が難しい状況となっております。その場合には、来年度に予算を繰越しせざるを得ませんので、予めご了承くださいませ。次に、桜の植樹費用については、前回の運営委員会で新たに承認されたものです。その結果、次期繰越金見込額は、1,688,688円となります。

日本たばこ産業株式会社立川支店業務部長の武田様より一言お願いします。

(日本たばこ産業株式会社 立川支店 業務部長 武田 様)

弊社の事情により、4月1日付で、全国25の支店を15に集約し、組織体制の変更を行います。立川支店についても今月末に閉鎖することとなりました。これまで、美しい多摩川フォーラムに参画させていただきましたことを光栄に感じつつ、感謝を申し上げます。美しい多摩川フォーラム様の益々のご発展と、参画されている団体様のご活躍を祈念申し上げ、最後の挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

(細野会長)

JT さん、本当に長い間有り難うございました。お金もさることながら、多摩川クリーンキャンペーンに、社員の皆さんが毎回参加してくださいました。名残惜しいですが、仕方ありません。皆さんのほうでご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第3号議案の「平成27年度事業計画・同予算(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

(3) 第3号議案:平成27年度事業計画・同予算(案)

(事務局)

第3号議案をご覧ください。まず、会費収入は、平成26年度着地見通しと同様、2,100,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、委託金として青梅市様より264,400円、助成金としてとうきゅう環境財団様より228,000円、前期繰越金が1,688,688円を見込んでおり、合計が12,281,088円となります。一方、支出の部ですが、平成26年度事務雑費等の中に見込んでいた印刷費を分離し、印刷費等396,000円、事務雑費等200,000円として計上しております。

次ページの「平成27年度事業計画(案)の主な実施内容について」をご覧ください。基本的には継続事業が中心です。新規事業として、経済軸に③御岳・冬物語とありますが、これは、冬の御岳山で「多摩の物語」の語りを実演する企画で、来年度トライアル事業として実施する方向で検討しているもので、1月の運営委員会や2月の三部会合同部会で様々ご意見をいただきました。その後、平野副会長が当初予定していた本年12月にかけての海外出張が微妙な状況になってきていることから、平野副会長の「多摩の物語」の語り会を御岳山で開催することも視野に入れながら、再度調整を進めたいと思います。なお、具体的な事業内容については、事務局にご一任いただければ有り難く存じます。⑤シーカヤック体験教室ですが、大田観光協会では、大田区カヌー協会と連携して毎年開催しているもので、フォーラムの後援名義の提供とPR等の協力をさせていただくというものです。ご説明は以上になります。細野会長、よろしくをお願いします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第4号議案の「平成27年度総会の開催日程等について(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

(4) 第4号議案:平成27年度総会の開催日程等について(案)

(事務局)

第4号議案をご覧ください。総会の開催日程ですが、5月30日(土)9時半～11時半、

フォレスト・イン昭和館で開催いたします。説明は以上になります。細野会長、よろしくお願い致します。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか……(拍手)。有り難うございました。以上で、4つの議案が全て承認されましたので、協議事項を終わります。なお、第2号議案から第3号議案までは、総会付議事項ですので、念のため申し添えます。では、事務局より、その他をお願いします。

6. その他

(1) 小倉副会長からお知らせ

(事務局)

はじめに、小倉副会長からご説明をお願いいたします。

(小倉副会長)

2枚のチラシをご覧ください。「市民環境大学生募集」については、日野市環境情報センターで、地球環境を楽しく学び、地球規模や身近な環境をみんなで考えていくものです。平成27年度で第7期目になります。毎週木曜日、年間20回の開講ですが、ぜひ周りの方に進めていただければと思います。多摩川フォーラムで「水大学」をやっておりますが、それと関連の深い内容になっています。

次に、書籍「見る 知る 調べる 水」のチラシですが、多摩川フォーラムでも参加している「身近な水環境の全国一斉調査」の10年の歩みとなっています。これは、ある企業から寄付金があり、かなり安く出版できることになりました。本の売上代金は、今後の一斉調査の資金にしたいと思っておりますので、ご購入をお願いいたします。

(2) 薮田アドバイザーからお知らせ

(事務局)

続きまして、英文の資料をご覧ください。薮田アドバイザーから説明をお願いします。

(薮田アドバイザー)

たまたま友人がオーストラリアにいて、UNWTO(国連世界観光機関)から何か日本で活動しているものを紹介してくれないかと依頼を受け、多摩川フォーラムの素晴らしい活動の事を打診したところ、書いてほしいと言われたので、英文で資料を作成しました。この資料が認められれば、UNWTOからの出版物として出されますので、世界的な認知に少し貢献できたかなと思います。

(3)JR東日本八王子支社からのお知らせ

(事務局)

続いて、JR東日本八王子支社の芝元様からご説明をお願いいたします。

(東日本旅客鉄道(株) 八王子支社 営業部販売促進課 副課長 芝元 憲太郎 様)

お手元にパンフレットを2枚配布させていただきました。JR東日本では、地域の活性化ということで、多摩川フォーラムさんと連携させていただき、特に青梅・五日市線の活性化に取り組んでおります。皆さんには「青梅・五日市線の旅」という冊子の春号をお配りしましたが、3ページ目には宮坂事務局長が撮影した桜の写真をご提供いただきました。また、多摩川フォーラムさんの活動も記載させていただきました。この冊子は、首都圏のJRの駅に配布します。

こちらは地域のご当地キャラのスタンプラリーです。これについては行政さんや観光協会さんにご協力をいただいております。

また、今後の動きとしまして、小澤酒造さんとタイアップし、多摩川酒蔵街道をテーマにした商品を企画しております。こちらについては、もっと具体的になりましたらご紹介させていただきます。引き続きよろしくをお願いいたします。

(3)フォーラム事務局からのお知らせ

(事務局)

このたび、当フォーラムのプロモーションビデオが完成しましたので、ご覧ください。

<プロモーションビデオ放映>

(事務局)

いかがでしたでしょうか。こちらは事務局自家製のビデオになります。今後、PRに活用してまいりたいと思います。

6. 総括・閉会

(森田副会長)

今日は、年度末を控えた大変お忙しい時期だと思っておりますが、運営委員会にご参加いただき、有り難うございました。また、上程させていただいた各議案につきまして、ご承認をいただき、有り難うございます。平成26年度の事業は、あとひとつ残すのみです。平成27年度の事業についてもご承認をいただきましたので、しっかりと事業を進めてまいりたいと思います。運営委員の皆さまには、引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(小倉副会長)

このフォーラムの活動は、企業、行政、市民の方が協働し、運動が続いており素晴らしいと思っております。来年度の事業も活発になることを祈念しまして、今後ともよろしく願いいたします。

(平野副会長)

皆様のご協力がなければ成り立たない事業です。森田副会長は、青梅信用金庫の理事長でありながら、一般客のような感じで東北にも毎年足を運んでくださいます。それぞれの世界のトップの方々が、普段お会いできないような方々が、ボランティアでやっている会です。皆さんの力があってこそなので、今後ともよろしく願い申し上げます。

(細野会長)

それでは、平成26年度・第3回運営委員会を終了いたします。有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)